

# 本当に頼れるつながり 同窓会

ナニワのアナウンサー・追手門学院大学客員教授 寺谷 一紀 [小88期]



オフィシャルウェブサイト  
<http://www.terataniichiki.com>

「人と人とのつながりが何よりの財産。人脈を大切にしています」  
 東京への転勤を固辞してNHKをやめてから5年、独立して心がけていることを聞かれると、必ずこう答えるようにしています。

NHKは転勤族です。大阪放送局に勤務する職員の中でも、地元の人間は少数派であり、大半は東京へ戻りたいと思っているのが実情です。

どうしても腰かけ感覚になってしまいますから、関西での地道な人脈作りには腐心する人はあまりいません。東京では役に立たないからです。

私は在職中から、こうした中央集権的な価値観に違和感を覚えていました。

ジャーナリストとして、地域に密着して活動することの方が重要だと感じていたからです。だからこそ、NHKの中でのつながりより、取材でお世話になった方など、外の皆さんと積極的に交流し、親交を深めてきました。

いわゆる「街ネタ」というものは、こうした人間関係から生まれてきます。

そんな私にとって、何よりも心強いのが、母校のつながりです。

同窓会を中心とする人脈に、何度助けをいただいたことでしょうか。

とりわけ、追手門の諸先輩にはお世話になっています。中学・高校や大学に比べて、はるかにウエイトが高いというわけです。

これは、追手門の卒業生が、実に幅広い分野で活躍されていることの証明でもあり、母校への愛着を強く持っていることの裏返しでもあります。どんな学校でも、母校が同じというだけで、強い絆や親近感が等しく生まれるものではありません。

私は、追手門の卒業生で良かったと、しみじみ痛感しています。

そうした皆さんのお力もあって、最近とくに活動の場が広がりました。まだまだ未熟ではありますが、アナウンサーや会社経営者、大学の講師や文筆家として、多くの顔を持てるようになったのです。

NHKをやめたからこそできたことに、私はとても感謝しています。

そんな自分を見つめ直すきっかけになればと、新しくウェブサイトを開設しました。新番組の情報なども掲載しています。ぜひアクセスしてください。

## 追手門学院の「思い出」が眠っていませんか？

追手門学院は2008年(平成20年)に、創立120周年を迎えます。学院では、学校史整備委員会が発足し、これを機に新たな学院史資料を収集しております。卒業生および旧教職員の方々に広く呼びかけを行っております。特に、大学の校友会館(仮称)では学院歴史展示室が設けられます。皆様のご家庭で眠っている学院に関する史資料がございましたらご協力をお願いいたします。また、順次各学校園におきましても展示スペースが設けられます。

■収集する史資料(幼稚園、小学校、中等学校、大手前中高、大学に関する物)  
 教科書、配布プリント、ノート、クラブ活動記録、受験票、合格通知、制服、クラブのユニホーム、指定体操服、ゼミ・修学旅行の写真等



ご寄贈いただいた資料は、歴史を物語る大切な史資料として永らく保管させていただきます。また、皆様のなかには、2代、3代にわたり追手門学院に在籍いただいた方(父母の代、祖父母の代)、ご親戚の方々も多数おられると思います。関係者がおられましたらお声をかけていただければ幸いです。

問い合わせ先 学校法人 追手門学院 学院長室(宮本)  
 〒567-0008 大阪府茨木市西安威2-1-15 TEL072-641-2324

代表取締役

越智 忠正  
 (小78・大中21期)

恩加島タクシー株式会社

〒551-0021  
 大阪市大正区南恩加島五丁目五番四号  
 電話 〇六六五五一一代表五一一〇番  
 FAX 〇六六五五二一一三二二番



整形外科 胃腸科 外科

医療法人 仁友会

桜之宮クリニック

院長 胃腸科 秋山 陽彦  
 (小59・中2期)

副院長 整形外科 石川 正士

536-0008 大阪市城東区関目3-2-22

TEL 06-6939-2851

FAX 06-6931-2359

京阪電車  
 関目駅 南200m



野瀬合同税理士事務所

税理士 折田 達平  
 (小73・中高16期)

税理士 東 龍平  
 (小83・大中26期)

〒530-0051

大阪市北区太融寺町2-21  
 ニュープラザビル 802号

TEL 06-6311-1281

FAX 06-6311-1248

E-mail: nose-z@athena.ocn.ne.jp